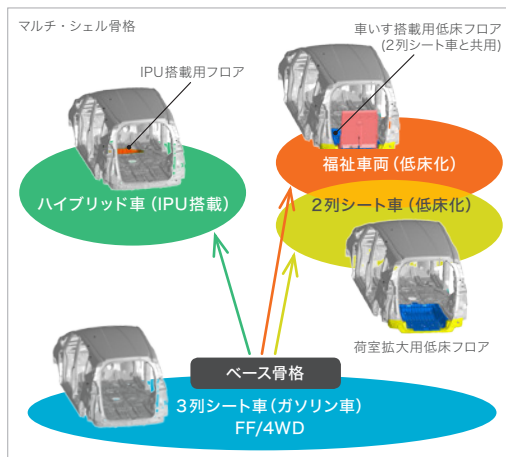


すべてのバリエーションを同じ安心と快適で満たす「マルチ・シェル骨格」を採用。

3列シート車、2列シート車、さらに福祉車両も加えて「いつでも、どこでも、だれでも」快適を提供するフリード/フリード+は、多彩なバリエーションをひとつのボディー骨格と最小限の専用パーツで実現する「マルチ・シェル骨格」を採用。クルマとしての安心と快適を、デザインチームとの緊密な連携によって、よりドライバーズカーらしいデザインとともに追求しています。

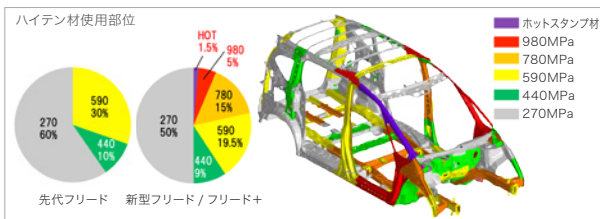


ボディーのしっかり感が大きく向上。

●超ハイテン材使用などにより高剛性化

街乗りだけでなく高速クルージングまで、さまざまな走りを安定化し、より快適にするため、先代フリード比でリアダンパーのねじり剛性を28%、車体全体のねじり剛性を22%向上させました。また高剛性ボディー

をミニマムなウエイトで成立させるため、高張力鋼板の使用率を拡大。超ハイテン材も積極的に採用しています。



空気の流れをきめ細かくチェック。

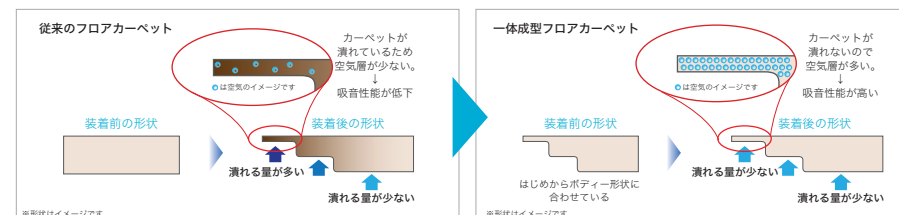
●燃費性能と直進安定性向上に寄与する空力性能

空力性能の向上は、燃費性能を向上させるだけでなく優れた直進安定性の獲得にも大きく寄与します。フリード/フリード+は、ルーフ中央部分をわずかに凹ませるデザインとすることにより前面投影面積を最小化し、フロントからリアへ向かって絞り込むボディー形状を採用。さらに空気をスムーズに流すためフラットな面をできるだけ大きくとるなどの工夫を重ね、ミニバンの中でもトップクラス*の空力性能を実現しています。 * Honda測定値。

静かさにも、多彩なアプローチ。

●優れた静粛性

カーペット内の空気層を維持することで高い吸音性能を発揮する一体成型フロアカーペットを新開発。さらにダッシュボードインシュレーター開口部の大幅な縮小化、ダッシュボードアウターインシュレーターの大型化などにより、室内の静粛性能をさらに向上させています。



ゆとりと安心を同時に向上。

●2列目キャプテンシートのロングスライド化

フリード (FF) の2列目キャプテンシートは、シートスライド量を先代フリードよりも大幅に拡大。あらゆるシート位置、さまざまな体格の乗員に対応できるように、シートベルトを最適な位置に配置し、大きな安心感を実現しています。



フロアはより低く、安心感はより高く。

●ロー＆フラットなフロアを実現するボディーとタンク間のクリアランス

フリード/フリード+を特徴づける低くフラットなフロアを実現するため、フロアと燃料タンクのクリアランスをギリギリまで縮小。フロアが衝撃を受けた際にタンクを傷つける心配がないかなどの検証を徹底することによって可能になった構造です。